



令和元年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月6日

上場会社名 株式会社sMedio

上場取引所 東

コード番号 3913 URL <https://www.smedio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩本 定則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 北埜 弘剛

TEL 03-6262-8660

四半期報告書提出予定日 令和元年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年12月期第3四半期の連結業績(平成31年1月1日～令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年12月期第3四半期	661	15.1	63		62		68	
30年12月期第3四半期	779	6.9	45		41		41	

(注) 包括利益 元年12月期第3四半期 73百万円 (%) 30年12月期第3四半期 47百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年12月期第3四半期	35.66	
30年12月期第3四半期	21.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
元年12月期第3四半期	1,296	1,109	85.6	578.78
30年12月期	1,450	1,175	81.1	616.69

(参考) 自己資本 元年12月期第3四半期 1,109百万円 30年12月期 1,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年12月期		0.00		0.00	0.00
元年12月期		0.00			
元年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和元年12月期の連結業績予想(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	889	9.7	79		78		84		44.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	元年12月期3Q	2,038,121 株	30年12月期	2,031,521 株
期末自己株式数	元年12月期3Q	120,892 株	30年12月期	125,092 株
期中平均株式数(四半期累計)	元年12月期3Q	1,913,073 株	30年12月期3Q	1,904,429 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

① 売上高の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、国内の人手不足を背景とする雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復が続いております。

このような環境の中、当社が属する情報通信業界は、IoT（モノのインターネット化）、AI（人工知能）、ビッグデータ、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、通信速度向上、通信規格の高度化といった、今後の社会一般を変貌させる力を秘めた技術革新が、今までにないスピードで進んでおります。当社は、ITの浸透が人々の生活をあらゆる面で、より良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーションの実現に、IoTが重要な技術であるとの認識に立ち、引き続き、事業を展開してまいります。

当社の事業は、技術の特徴で大きく分けると、無線接続技術や著作権認証技術を活かしたワイヤレスコネクティビティ事業と脆弱性診断やデータバックアップといった技術を活かしたセキュリティ&プライバシー事業に分けられます。

（ワイヤレスコネクティビティ事業）・・・当社が主体

Blu-rayTM再生ソフトウェアや高解像度(4K/8K)画像処理技術を基盤とした事業になります。当事業は、ロイヤリティ収入を主体としているため、Blu-rayTMなどを再生するデジタル家電機器（TV、Blu-rayTMレコーダー、PCなど）の出荷台数に影響を受けます。国内のデジタル家電機器の出荷台数は底を打った感が出てきましたが、依然、低調であることには変わりなく、厳しい事業環境が続いております。

当事業においては、画像解析AIエンジンを軸とした製品群(sMedio AI Technologies)も取り扱っており、建設業や流通業等での商用化を見据えた実証実験を複数実施しております。

（セキュリティ&プライバシー事業）・・・タオソフトウェア(株)および(株)情報スペースが主体

Androidのセキュリティ脆弱性診断やBLE(Bluetooth[®] Low Energy)を使った位置情報ソリューション、データ移行・バックアップアプリ（JSバックアップ）に関する開発収入を中心とした事業であります。開発収入からロイヤリティ収入への転換および月額課金サービス収入の育成を図っております。

このような状況において、グループ全体としては、当社のソフトウェアが搭載されているPCなどのデバイス出荷台数が低調であった影響等で、ロイヤリティ収入が落ち込み、売上高は661百万円（前年同四半期比15.1%減）となりました。

形態別売上高は、下表のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

形態別売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
ロイヤリティ収入	542	441	△100	△18.6
受託開発収入	178	178	△0	△0.3
保守サービス・サポート収入	57	41	△16	△28.3
合計	779	661	△117	△15.1

② 販売費及び一般管理費、営業損益の分析

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は350百万円（前年同四半期比16.3%減）、営業損失は63百万円（前年同四半期の営業損失45百万円から18百万円の拡大）となりました。

売上高の減少が主にロイヤリティ収入の減少であったため、売上原価は減少幅が小さくなり、売上総利益が86百万円減少しました。販売費及び一般管理費は前年同四半期に比べ68百万円抑制できましたが、売上総利益の減少を補いきれず、営業損失が18百万円拡大しました。

③ 営業外損益、経常損益の分析

当第3四半期連結累計期間における営業外収益は1百万円（前年同四半期比63.4%減）、営業外費用は0百万円（同58.3%減）、経常損失は62百万円（前年同四半期に比べ損失額が21百万円の拡大）となりました。

④ 親会社株主に帰属する四半期純損益の分析

当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円（前年同四半期に比べ損失額が26百万円拡大）となりました。

(単位：百万円未満切捨て)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
売上高	779	661	△118
営業損失(△)	△45	△63	△18
経常損失(△)	△41	△62	△21
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41	△68	△26

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,142百万円であり、前連結会計年度末に比べ124百万円減少しました。これは、主に支払いロイヤリティを前払いしたことで、原材料が304百万円増加した半面、その支払いや銀行借入の約定返済により、現預金が452百万円減少したことによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は153百万円であり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。これは、主に償却よりのれんが24百万円減少したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は178百万円であり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少しました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金93百万円を返済したことによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は8百万円であり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少しました。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,109百万円であり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失68百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成31年2月13日に公表いたしました令和元年12月期の通期連結業績予想を下記の通り、修正しております。

(単位：百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想(A)	1,063	△35	△36	△52
今回修正予想(B)	889	△79	△78	△84
増減額(B)-(A)	△173	△43	△42	△31
増減率(%)	△16.3	—	—	—

詳細につきましては、本日（令和元年11月6日）公表いたしました「令和元年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,083,806	631,451
売掛金	47,369	76,651
たな卸資産	119,144	410,396
その他	16,559	24,106
貸倒引当金	△146	△146
流動資産合計	1,266,734	1,142,459
固定資産		
有形固定資産	21,846	25,059
無形固定資産		
のれん	85,074	60,976
その他	26,030	17,774
無形固定資産合計	111,104	78,751
投資その他の資産		
繰延税金資産	26,617	26,577
その他	23,716	23,415
投資その他の資産合計	50,334	49,993
固定資産合計	183,285	153,804
資産合計	1,450,020	1,296,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,351	31,915
1年内返済予定の長期借入金	124,374	30,837
未払法人税等	6,401	6,280
前受収益	21,320	17,554
賞与引当金	2,233	10,948
その他	61,800	80,717
流動負債合計	265,482	178,253
固定負債		
資産除去債務	4,150	4,139
繰延税金負債	4,711	4,211
固定負債合計	8,862	8,350
負債合計	274,344	186,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,707	509,769
資本剰余金	668,313	665,911
利益剰余金	219,189	150,974
自己株式	△227,199	△219,572
株主資本合計	1,168,010	1,107,083
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△198	△1,734
為替換算調整勘定	7,863	4,310
その他の包括利益累計額合計	7,664	2,576
純資産合計	1,175,675	1,109,659
負債純資産合計	1,450,020	1,296,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日)
売上高	779,397	661,341
売上原価	406,343	374,903
売上総利益	373,053	286,437
販売費及び一般管理費	418,604	350,372
営業損失(△)	△45,550	△63,934
営業外収益		
受取利息	246	211
助成金収入	1,735	1,010
為替差益	3,044	557
その他	48	77
営業外収益合計	5,074	1,855
営業外費用		
支払利息	983	351
その他	36	74
営業外費用合計	1,019	425
経常損失(△)	△41,496	△62,504
特別損失		
固定資産除却損	76	-
特別損失合計	76	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,572	△62,504
法人税等	77	5,710
四半期純損失(△)	△41,649	△68,214
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,649	△68,214

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日)
四半期純損失(△)	△41,649	△68,214
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	48	△1,535
為替換算調整勘定	△5,471	△3,552
その他の包括利益合計	△5,423	△5,088
四半期包括利益	△47,073	△73,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,073	△73,303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであり、記載を省略しております。